8/23 長年続く伝統行事
鎮火祭（吉田一区）

地区の実際の人物を演じる「両併仁〇加」

火伏地蔵を祀る「鎮火祭」（吉田一区主催）が開催され、火伏祈願祭が西安寺地蔵前広場、本祭が白水総合センター２階ホールにて行われました。

本祭では、地元新町青年や、両併地区青壮年による「仁〇加」（にわか）、南阿蘇太鼓、地元の子どもたちによる歌唱、バルーンアート、村エイサー隊などが、ステージから観客を盛り上げました。天候の関係で屋内での開催となりましたが、会場には出店が並んだほか、抽選会などの催しもあり、多くの人でにぎわっていました。

8/17 ぞれぞれの記録に挑戦
第13回南九州ブロックB&Gスポーツ大会（平成30年度熊本県B&Gスポーツ大会）

参加した16人全員が一生懸命に泳ぎきりました

第13回南九州ブロックB&Gスポーツ大会 兼 平成30年度熊本県B&Gスポーツ大会が、長洲町B&G地域海洋センターで開催されました。この大会は、熊本、鹿児島、宮崎、沖縄の４県から参加者が集まるもの。

村からは、7月に行われた村学童水泳記録会で好記録を出した、村内小学校の児童16人が出場。50m自由形や平泳ぎなど、それぞれの種目に全力で取り組み、自分自身の記録に挑戦する泳ぎを見せました。

9/8、9 練習の成果を披露
村内４小学校運動会

一致団結の走りを披露した
白水小学校の５・６年生たち

村内４つの小学校（両併・白水・中松・南阿蘇西）で運動会が開催されました。

白水小学校（北誠一郎校長）の運動会は、9月8日、旧白水中学校体育館で開催。雨による会場変更をものともせず、児童たちは、短い期間の中で頑張ってきた練習の成果を発揮しました。

5・6年生の「息を合わせてイチ、二、イチ、二」では、紅白に分かれて二人三脚、三人四脚と人数を増やしながら走る競技が行われ、両団とも息の合った足取りでゴールを目指していました。

9/3 災害に耐えた杉を活かして
伐採木のチェーンソーアート展示

役場の玄関で来庁者をお迎えしています

平成28年熊本地震およびその後の豪雨により被災した立野地区において災害復旧工事の際に伐採した杉を材料とし、チェーンソーアートの作品が制作されました。

これは、杉を有効活用してほしいという所有者の方の要望を受け、阿蘇地域振興局山地災害対策課の提案で、阿蘇市のチェーンソーアート職人（松野重則さん）が手がけたもの。

作品は現在、役場庁舎の玄関に設置してあります。役場にお越しの際は、ぜひご覧ください。